

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2
発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 教育施設課長 高宮正明 電話番号 0852-22-5909

事務事業の名称	産業教育設備整備事業	
目的	(1) 対象	専門高校の生徒
	(2) 意図	産業に関する高度な知識・技術を習得できる教育を受けられるようにする。
事業概要	専門高校の生徒が充実した産業教育を受けるために必要な産業教育設備を整備する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	専門高校における特別装置の設備更新率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	更新実績数÷更新対象設備数	取組目標値						
			実績値	100.0	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	195,781	171,500
うち一般財源 (千円)	195,781	171,500

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 産業教育用情報機器（CADシステムなど）については、長期的な更新計画に基づき更新している。
- 情報機器以外の産業教育用機器については、更新が遅れているものがある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 産業教育設備の緊急更新により、更新が遅れていた設備の一部について更新が図られた。
- 情報機器の更新計画を見直し、必要な予算の平準化を図った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

老朽化した産業教育設備の更新が実施できていない。

②困っている状況が発生している「原因」

予算の制約があり、老朽化した設備が適切な時期に更新できない。

③原因を解消するための「課題」

老朽化した産業教育設備を適切な時期に更新していくための予算確保が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

必要な設備の精査と各学校における利用状況を勘案しつつ、関係課と調整しながら優先順位をつけ整備していく。